**平成29年度**

＜ＪＡバンク中央アカデミー＞

全国研修のご案内（No.1230）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　講師変更にあわせ

 研修内容を変更

**「不祥事防止指導実践研修」**

　　～ 県域での不祥事防止研修に向けた知識・手法を習得するための講座

* **「不祥事ゼロ運動」に基づく県内での信用事業の不祥事防止取組指導に必要な基礎知識を身に付けたい方。**

**〇　県内ＪＡで不祥事につながりかねない事務の不備がなかなか改善されずにお悩みの方。**

* **主に信連等の不祥事防止指導部署で，県内ＪＡ向け「不祥事防止研修会」等の講師を担う職員の方の受講をお奨めします。**

募集人数

増を見込み、Ｂ班の開催を急遽、追加しています。

○ 日程：（Ａ・Ｂ班とも３日間）

（Ａ班）平成29年７月26日（水）12:50 ～28日（金）15:40

**（Ｂ班）平成29年8月16日（水）12:50 ～18日（金）15:40**

* 場所： （Ａ・Ｂ班とも宿泊場所も同じ）

農林中央金庫品川研修センター

（住所）東京都港区港南２－１０－１３



* 研修のねらい（こんな時）

ＪＡにおける不祥事発生件数は、依然として撲滅には至っておらず高い水準にあります。農協改革によりＪＡグループが注目される中、不祥事はＪＡの信頼性にこれまで以上に大きな影響を与えかねません。ＪＡが農協改革に対応して存続していくためには、その土台として不祥事を未然に防止できる組織づくりが必須であり、信用事業としても十分な指導が必要です。

本研修では、「なぜ必要か」（趣旨・目的）に重点を置いた説明により受講者の不祥事防止に向けた対応の理解を深めるとともに、受講者が研修資料を持ち帰り、県内ＪＡに対して研修・指導できるようになることを目標としています。

* 想定する受講対象者

信連等の不祥事防止指導部署の職員（主な対象者として、県内ＪＡ向け「不祥事防止研修」講師を担う方を想定しています。）

* 考え方（研修の骨格）

受講者の皆さんが県内ＪＡに対する研修開催等を含め、ＪＡへの不祥事防止取組指導を行うために必要な知識とスキルを学んでいただけるよう２部構成としております。

前段では、弁護士の川西講師から、①不祥事件の実例と近時の傾向、金融行政の対応等を講義の後、②不祥事件発生時の対応につきケーススタディを交え、最後に③検査事例等を織り込みつつ不祥事件防止態勢の構築に向けた対応を学んでいただきます。

後段では、公認会計士の高山講師から、「意識醸成」と「仕組み」の２面から、不祥事防止に向けた指導ポイントを学んでいただきます。不祥事防止の「仕組み」として、事務手続のほか、事務手続の運用を支える事務リスク管理態勢をテーマとします。事務手続については、事務の趣旨を含めて周知徹底する必要性とその方法を学ぶことにより、改善が進まない事務の指導に役立てます。事務リスク管理態勢については、具体的なＪＡでの失敗事例をふまえて態勢整備のポイントを学ぶことにより、ＪＡが自立的に不備を発見して改善を図るための基盤の指導に役立てます。いずれも座学に終始せず、実践的な演習や他県域との意見交換などワークショップの時間を十分に設け、座学の腹落ちや新たな気付きを得る場として活用いただきます。

受講者は、本研修資料から必要なページを抜き出して県内ＪＡ向けの研修に使用することが可能です。

* 関係者の声

（川西講師から）

　お客様の大切なお金をお預かりする金融機関において、不祥事防止は、避けて通ることのできない重要なテーマです。本研修では、私が、金融検査官として、また、弁護士としての業務の中で触れた金融機関で生じた不祥事件の実例を数多く紹介しながら、皆様とのケーススタディを通じて、現場の職員が「不祥事件を起こそうと思わない環境づくり」について、考えてみたいと思います。

　皆様とお会いできることを楽しみにしております。是非、積極的にご参加ください！

（高山講師から）

　不祥事の防止のためには、意識醸成と仕組みの両輪で対応する必要があります。不祥事防止のための仕組みとして、本年度から新たに事務リスク管理態勢が研修内容に加わっています。事務リスク管理態勢は、ＪＡにおいて自立的に不備を改善する、いわゆるＰＤＣＡサイクルを有効に機能させることをいい、事務手続を適切かつ継続的に運用していくために不可欠です。

　重要な事務手続がＪＡになかなか定着しないとお悩みの皆様、是非研修に参加いただき、指導にご活用ください！

（研修企画担当から）

〇今年度から、後半部分の講師変更にあわせて研修内容を変更しています。

〇従来の県域でのＪＡ向けの研修会講師を行うための手法の習得を目的とした研修内容を、「不祥事を予防する組織風土と仕組みを作るためのポイントを学び、ＪＡが実践するための指導ができることになること」を研修目標として、ワークショップ・確認テスト等を導入し、より実践的な研修内容となるよう見直しました。

* 研修講師紹介（出講順、敬称略）

川西　拓人（かわにし　たくと）

＜略歴＞　平成15年に弁護士登録。同年、御堂筋法律事務所に入所、平成20年～22年まで
金融庁検査局勤務のため休職。平成22年同法律事務所東京事務所に復帰。平成27年7月からのぞみ総合法律事務所勤務。

現在、ＪＡバンク中央アカデミー経営者コース、ＪＦマリンバンク店舗長コース講師として活躍中。

高山　大輔 （たかやま　だいすけ）

＜略歴＞　有限責任監査法人トーマツ　JA支援室　シニアマネジャー

公認会計士・不動産鑑定士

平成24年よりJAグループの内部監査担当者研修、内部監査室長研修のコンテンツ作成、講師を務めるほか、ＪＡ向けの事務リスク管理態勢調査に従事する。近年では公認会計士監査対応のためのＪＡ全中の取り組み支援、農林中央金庫による統一事務手続の改定支援の責任者を務めるほか、株式会社きんざいのアグリビジネスコース派遣講師等も務める。日本公認会計士協会　監査・保証実務委員会委員、日本公認会計士協会東京会　監査委員会副委員長現任。

* 研修プログラム（予定）　※ 進行により、時間配分等変更の可能性があります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | セッション名 | 内容 | 講師 |
| 【１日目】 |
| 12 | （12:50集合） |  |  |
| 13 | ＜開講＞〇不祥事とは〇実例と近時の傾向〇発生のメカニズム〇金融行政の対応〇ケーススタディ（17:30終了） | ・農協法における不祥事件の定義・不祥事件の類型と近時の系統等・営業店における動機・機会の所在等・発生時の行政処分の基準（グループディスカッション） | ・川西講師 |
| 19 | （経験交流） | （４階ダイニングルーム） |  |
| 【２日目】 |
| 912131518 | 〇不祥事件発生時の対応〇検査事例等から分析する防止態勢の整備とその落とし穴〇不祥事防止態勢の構築 | ・発生時の調査方法とその限界・金融検査結果事例の分類・より高度な防止態勢構築に向けて | ・川西講師(アンケート記入） |
| ○コンプライアンス | ・コンプライアンスとは・コンプライアンス遵守のための取組み・コンプライアンス遵守のために支店長に期待される役割（グループディスカッション） | ・高山講師 |
| ○事務手続（17:30終了） | ・内部統制とは・重要な事務手続の解説 |
| 【３日目】 |
| 910121315 | ○事務手続（つづき） | ・事務手続の不備発見のコツ（グループディスカッション） | ・高山講師 |
| ○事務リスク管理態勢 | ・事務リスク管理態勢とは・事務リスク管理態勢整備のポイント（グループディスカッション） |
| ○事務リスク管理態勢（つづき）○後段部分のまとめ | ・事務リスク管理態勢整備のポイント（つづき）・原因分析のコツ（グループディスカッション） |

（注）第１日目の研修終了後「経験交流会」を開催いたします。

〇 募集人員

　　　・Ａ班の定員　３６名　　・Ｂ班の定員　３０名

* 応募人数が定員を上回った場合は、受講をお断りする場合がありますので、予めご承知おきください。（受講をお断りする場合は、開講の1カ月前までにご連絡します。）
* 正式なご案内は、事務の都合上、1カ月前頃の送付となりますので、1カ月前までに連絡がない場合はお申込みいただいた内容で受講準備をお進めください。
* 日程日程（Ａ・Ｂ班とも３日間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 日程 | 会場 | 宿泊場所 |
| Ａ班 | 平成29年7月26日（水）13:00～28日（金）15:40＜集合日時＞平成29年7月26日（水）12:50 | 農林中央金庫品川研修センター | 農林中央金庫品川研修センター |
| Ｂ班 | 平成29年8月16日（水）13:00～18日（金）15:40＜集合日時＞平成29年8月16日（水）12:50 | 農林中央金庫品川研修センター | 農林中央金庫品川研修センター |

※ 各班とも集合日当日の昼食は準備しておりませんので，各自でお済ませください。

* 研修会場・宿泊場所

（１）研修会場　　　農林中央金庫品川研修センター

（住所）東京都港区港南２－１０－１３

（電話）０３－６７５８－３１７０

（２）宿泊場所　　　農林中央金庫品川研修センター

　　※ 宿泊人数の関係で近隣ホテル等での宿泊となる場合がありますので、予めご承知おきください。

* 参加費用（予定）（消費税込）（Ａ・Ｂ班とも共通）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 金額 | 備考 |
| 受講料 | ４２，０００円 | 教材費を含みます。 |
| 宿泊代 | ２，０００円 | ― |
| 食事代 | ４，８００円 | 研修期間中の食事代（経験交流会を含みます。） |
| 合計 | ４８，８００円 |  |

* 申込みの方法

６月１６日（金）までに以下の方法でお申込みください。

|  |  |
| --- | --- |
| お申込み | 申込方法 |
| 信農連・１ＪＡ県ＪＡ | 「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。 |
| 農林中金本支店・営業所 | N-Styleより農林中金系統人材開発部へお申込みください。 |

以上

【本件にかかる照会先】

株式会社　農林中金アカデミー　全国研修部　石郷岡・久野・谷田貝

　（電話　０３－３２１７－３０６０，３０６２）